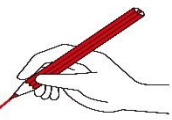


Move Mountains

5年生通信

7月9日43号



○一文書くと次の一文が浮かんでくる～作文の第一歩～

コンクールの季節がやってきました。つまり、世間では夏休みが近づいてきました。これでもか！というくらい学校には各種コンクールのお知らせが届きます。

国語担当ですので、作文コンクールに限定して筆を進めてまいります。

各種コンクールのお知らせを見ていて思うのは「すごくハードルが下がった」です。

例えば「読書推薦文コンクール」（主催：博報堂教育財団）は、「本を人にすすめる文章」を書くのですが・**詩集・図鑑・写真集・漫画でも可**となっています。ようは、読書感想文に近いと思うのですが、選書の幅が広いだけで、やってみようと思えそうですね。

ちなみに、文字制限は**300字**。400字詰め原稿用紙よりも短いので、気軽に書いて、推敲を重ねられそうです。5年生は、団体応募します。

「**映画感想文コンクール**」（主催：全国感想文コンクール実施委員会）や、「**マンガ感想文コンクール**」（主催：一般財団法人出版文化産業振興財団）もあります。

夏休みの宿題、最強の敵＝読書感想文…なんて思われがちなのですが、文章を書こうと思わせるコンクールが増えてきました。

とはいえ、文章を書くことの極意を知らなければ、作文への抵抗感は増すばかりです。

極意それは…

一文書くと次の一文が浮かんでくる

ことを私も実感したアクティビティがあるので紹介します。

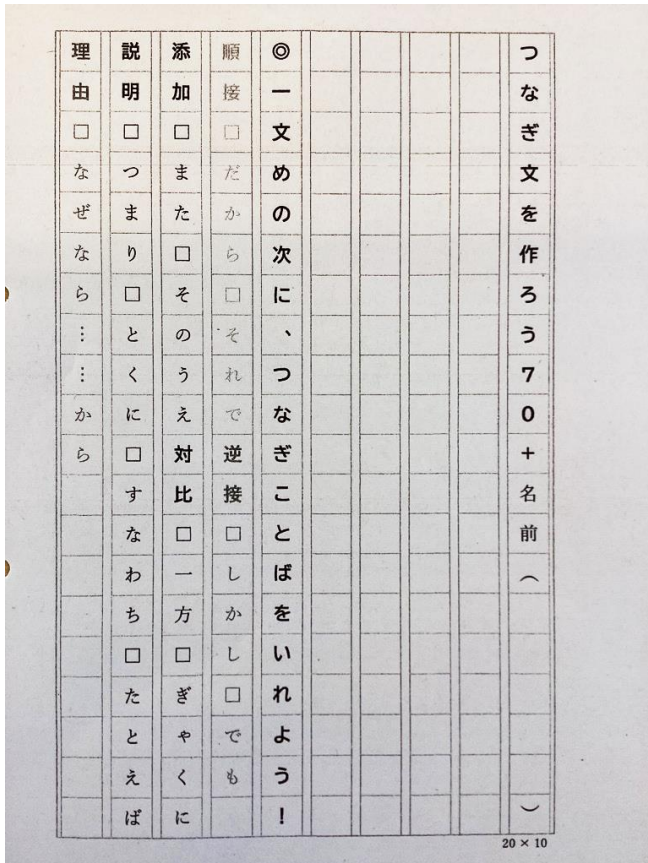
元の実践は、「R80（アールエイティー） 自分の考えをパッと80字で論理的に書けるようになるメソッド」です。

ルールは2つ

- ・2文構成80字
- ・2文目の最初に接続詞を使う

これだけです。





例えば、一文目を「今日も、うだるような暑さが続いていて、外を歩いていると汗が止まらなくて仕方ない。」と書いたとします。

左の選択肢から接続詞を選びます。

だから汗をタオルで拭き続ける。

しかし部屋に入ればエアコンが効いている

そのうえ、電車に間に合わなそうだから走らなければならない。

一方、南極は涼しくてうらやましい

など、**接続詞によって**、次の文章が決まってくるのが分かると思います。逆にいえば、接続詞を使いこなすことによっても文章を書くことができるわけです。

この経験を通すことで、一文書くと次の一文が浮かんでくることを体感できます。

たった5分ほどですが、次々と文章ができてきます。

・きのう森で目がひかっている小さくてとてもかわいい野うさぎを見ました。しかし、私に気づいたしゅんかんすぐににげていってしまったので、すごくかなしかったです。(76字)

・今年の夏はすごくあつくて、つゆなのに雨がぜんぜんふりません。一方、へやの中や、教室はエアコンがきいているので、すごくすずしいです。きびしい夏をのりきりしましょう。(80字)

・土曜日は、おばあちゃん家に行って夜ごはんを食べてとまらせてもらったおばあちゃんの家は2階建てで、とても広いです。だから、私は毎週、おばあちゃん家にとまりに行く。(80字)

2文で80字は思ったよりも難しいので、最初は3文でも大丈夫です。5分程度で書けます。お家でも、ご家族でやってみてください。確実に作文力が伸びます。

☆お便りフォームはこちら☆

<https://forms.gle/ndGkDHTYcmB1bWyU9>

